

<施策開発プロジェクト>

1. 2010 年度活動計画

1) シラバス、学生による「授業改善アンケート」、GPCA の有効活用に向けた施策

2009 年度後期から導入した、シラバス・授業改善アンケート・GPCA に関する「振り返りシート」の活用実態についてのフォロー調査を行い、「日常的な FD」の浸透を促すための施策を提案する。

2) 「特色ある FD への取組み」助成金の成果の活用に向けて

2010 年度および過年度に助成を受けた取り組みの成果を、学内で共有していく方法を策定する。方法の一つとして、今後は、取り組みの成果を「法政大学教育研究」誌上にて発表してもらうことを、助成の条件に加えることを検討したい。

3) IT 関連センターや図書館、および大学評価室との連携体制の構築

2009 年 11 月 1 日に発足した「法政大学教育支援機構」の中での、FD 推進センターの実質的役割の明確化と学内への周知、関連する学内の他センターや大学評価室との連携および役割分担の合意形成を行っていく。

4) 教育効果の評価・測定方法についての情報収集と学内への情報提供

今後は、教育目標に照らして、教育の成果をどのように測定し、成績評価と関連づけていくのか、また、カリキュラムの見直しにどう役立てていくのかについて、各教学単位で議論していく必要があると思われる。他大学での実践例について情報を得て、学内にその情報を提供し、議論の材料として活用してもらうための施策を考案する（サーベイ&フィードバックプロジェクトとの連携）。

5) 大学院における FD の展開

学内あるいは他大学で成功している大学院 FD の事例収集及びそれらの情報の学内共有の道筋を付ける。

以上